

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震評価:メカニカルスナツバ)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
1	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	9, 10	今回工認の詳細評価の対象となるメカニカルスナツバは限られた台数(全体の1割程度)であり, 個々の部品に対する評価を採用しても, 評価作業が膨大とならないことを記載しました。	2021/8/5	
2	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	別紙6-3	最大圧縮荷重の定義を記載しました。	2021/8/5	
3	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	別紙6-2	最大負荷荷重のばらつきを考慮する必要はないことを記載しました。	2021/8/5	
4	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	別紙6-2	限界耐力値と最大負荷荷重等との関係を図示しました。	2021/8/5	
5	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	25	ボールネジは機能部品だが比較的単純な構造のため, 構造部材と同様の応力評価を実施することを記載しました。	2021/8/5	
6	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	別紙6-4	ボールねじについて試験におけるばらつきの影響は考慮不要であることを記載しました。	2021/8/5	
7	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	別紙6-9	計算座屈荷重は計算式により算出された理想的な条件下における座屈荷重であり, 試験座屈荷重が計算座屈荷重を下回っていることを記載しました。	2021/8/5	
8	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	別紙6-7	静的試験の座屈荷重より動的試験の座屈荷重が大きくなることから, 静的試験では動的試験より座屈が発生しやすいことを記載しました。	2021/8/5	
9	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	別紙6-9	電共研の知見において座屈の補正係数を設定していることを記載しました。	2021/8/5	
12	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	5	「設計変更」に記載を見直しました。	2021/8/5	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震評価:メカニカルスナツバ)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
13	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	5	4.3.2の呼び込みを記載しました。	2021/8/5	
14	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	6	コネクティングチューブを例にしていることを記載しました。	2021/8/5	
15	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	13	今回工認の評価方法とわかるように記載しました。	2021/8/5	
16	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	19	「既工認/今回工認の一次評価も同様」と記載を見直しました。	2021/8/5	
17	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	39	「地震荷重と限界耐力値の比較」と記載を見直しました。	2021/8/5	
18	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	40	不要な注記を削除しました。	2021/8/5	
19	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	52~54	JNES研究の試験結果も考慮したアンギュラー玉軸受の耐力値で評価していることがわかるように記載しました。	2021/8/5	
20	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	41	女川2号機の今回工認における詳細評価手順	2021/8/5	
21	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	55	簡潔になるよう記載を見直しました。	2021/8/5	
22	補足-600-26	メカニカルスナツバの評価手法の精緻化について	別紙4-12, 別紙4-17	固定部がわかるように記載しました。	2021/8/5	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震評価:メカニカルスナツバ)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
24	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	3	詳細評価の対象数がメカニカルスナツバ全体の一割程度である評価作業が膨大とならないためメカニカルスナツバの個々の構造部材に対する強度評価を実施することを記載しました。	2021/8/3	
25	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	4	ばらつきに関する説明をフロー図を記載しました。	2021/8/3	
26	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	9	今回工認の詳細評価における機能部品を含む機能確認に適用する限界耐力値を表で示しました。	2021/8/3	
27	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	7	メカニカルスナツバ全体に対する座屈の考え方は電共研の知見であることを記載しました。	2021/8/3	
28	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	3	構造部材の強度評価のグラフ縦に見直しました。	2021/8/3	
29	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	8	「最大負荷荷重/理論座屈荷重」に記載を見直しました。	2021/8/3	
30	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	8	ターンバックル部の長さの違いで補正係数が変わることを図示しました。	2021/8/3	
31	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	4, 6	電共研, JNES研究の出典を記載しました。	2021/8/3	
32	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	1	指摘事項に対する回答を要約して記載しました。	2021/8/3	
33	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	7	メカニカルスナツバの座屈試験結果(最大負荷荷重/理論座屈荷重)から補正係数を設定していることを記載しました。	2021/8/3	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震評価:メカニカルスナツバ)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
34	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	6	標準スラスト荷重の定義を記載しました。	2021/8/3	
36	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	7	オイルスナツバ, メカニカルスナツバいずれも円柱状の部品等で構成されおり, 座屈 荷重の計算方法が同じであることを記載しました。	2021/8/3	
37	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	7	メカニカルスナツバとオイルスナツバの図の向きを合わせて記載しました。	2021/8/3	
38	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	参考	説明に必要な前回審査会合資料を参考に追加しました。	2021/8/5	
39	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	2, 3	前後の文章の繋がりを考慮して表現, 構成を見直しました。	2021/8/5	
40	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	3	構造部材に対して部品を個別に強度評価(応力評価)を実施することにした理由を記載しました。	2021/8/5	
41	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	6	構造部材のばらつきの説明を図を用いて記載しました。	2021/8/5	
42	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	8	電共研での知見で補正係数に対し, メカニカルスナツバ及びオイルスナツバの複数の座屈試験結果から, 試験のばらつきの影響が含まれることを検討していることがわかるように記載しました。	2021/8/5	
43	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	1	指摘事項への回答の表現を見直しました。	2021/8/5	
44	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	4, 7, 8, 9	最大負荷荷重の定義を記載しました。	2021/8/5	

女川2号工認 記載適正化箇所(耐震評価:メカニカルスナツバ)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
45	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	2	同一型式における各構造部材間の発生応力の割合は、地震荷重の大小によらず同じ比率となり、同一型式の最小裕度部品は同じであることを記載しました。	2021/8/5	
46	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	3	「耐震設計の標準的な考え方を採用」の記載は不要のため削除しました。	2021/8/5	
47	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	2	グラフを見やすく修正しました。	2021/8/5	
48	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	8	座屈箇所を記載しました。	2021/8/5	
49	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	10	SMS-10の最小裕度部品が変わったことがわかるように記載しました。	2021/8/5	
50	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	別紙1	前回審査会合からの変更箇所を赤字で示しました。	2021/8/5	
51	-	女川原子力発電所第2号機 メカニカルスナツバの耐震評価について(指摘事項に対する回答)	7	「保守的」の記載は不要のため削除しました。	2021/8/5	